

【審議会意見】 〔基本構想〕意見に対する修正内容

項番	方向	施策	審議会委員意見	修正内容
一	全体		まちの「格」として、どのようなまちを目指すのか明確にしないのか。市の人口は計画期間中に20万人を超えることが見込まれており、特例市の要件を満たすことになる。しかしこの点については特段の言及が行われていない。特例市を目指すのか、若しくは特例市に伍するような市としての「格」を有すること（及びその認知を広く得られること）を目指すのか、それともこの点については考慮しないのか、またはあえて触れないのか。	地方分権の流れの中で特例市までとはならずとも、多くの権限が基礎自治体に移譲されつつある現状を勘案すると、現時点において、特例市を目指すような方向での言及は考えておりません。
構1	策定の趣旨		最初から5行目までのブロックの内容が過去からの記述のため、昨今の情勢との間に違和感があります。	再度、全体構成・内容を見直しました。
構2	策定の趣旨		6行目から16行目までが文章のセンテンスが長いと思います。あれもこれも一文で収めようとする、非常に理解しづらくなります。	再度、全体構成・内容を見直しました。
構3	計画のフレーム		基本構想「2.計画のフレーム」ですが、正確に言えば、基本構想なので、構想のフレームではないでしょうか。 基本計画には、「3 計画の指標」があります。ここには土地利用が入っていませんが、ダブります。こうして構想と計画を一体として掲載すると、若干の調整が必要です。	総合計画全体の枠組みを示すという意味と考 え、タイトルは現行のまま「計画のフレーム」とします。
構4	わたしたちの望み（基本理念）		理念は、策定の趣旨にもとづいたこれからの10年の精神的支柱で、この計画の最も大事なメッセージだと思います。言葉を変えると市と市民との絆メッセージですね。市の意気込み、魂ですね。 6行目の～としました。は言い訳みたいになっている。 10行目の～そして、の接続詞はおかしい。	再度、全体構成・内容を見直しました。
構5	理想のまち（将来像）		3行目からの流れが気になります。4つの理想のまち～があって、4行目にまた”～4つの理想のまち～“が出てくる。 また、4行目に”そのため“があり、5行目に”実現するため”と、ためが続いてくる。わかりづらい。2行目の後に、1、みんな～ 2、豊かで～ 3、ひと・～4、ひと・もの・こと の4つの将来像の言葉を入れると後の図との整合性がとれて分かり易いです。	再度、全体構成・内容を見直しました。
構6	理想のまち（将来像）	ひと・もの・ことが育ち活かされるまち	[ひと・もの・こと～]は3行目、友人の前に <u>家族</u> も入れるべきではないでしょうか。6行目にこのような 9行目にそのような 11行目にもてるようながあり、ようなという言葉が続いているので修正したほうがよい。	・「家族」を追記しました。 ・6行目の「このような」、9行目の「そのようなまちに近づくには」を削除しました。

項番	方向	施策	審議会委員意見	修正内容
構7	まちづくりの課題	地域コミュニティの再構築	文頭の部分を、今までは町内会、自治会・・・傾向にあり、そのため、・・・弱体化が進んでいました。しかし、東日本大震災では・・・というようにしたほうがインパクトがあるように思いました。	再度、全体構成・内容を見直しました。
構8	まちづくりの課題	少子高齢化への対応と協働によるまちづくり	少子高齢化の進行は生産年齢人口の減少も伴い、市政に大きな影響を及ぼす税収の落ち込みが予想されます。個人住民税の推移についての対策等について言及すべきと思います。	現行のままとさせていただきます。 税収の落ち込み等による今後の対応については、上の項目「地域の自立と行財政改革の推進」のところで記載あり。
構9	まちづくりの方向		このタイトルへの疑問です。 基本理念を掲げ、理想のまち像を訴求したのですから、タイトルは「理想のまち実現のための方向性」としたほうが、流れがいいのではないのでしょうか。視点という言葉は4ページで共通の視点ということを使っているの、ここで出てくると紛らわしいですね。ここはあくまでもまちづくりの方向を示すものであり、基本計画の中身に入っていく目次的なものでもあります。そのため、もうここでは視点的レベルから先にはいるのではないのでしょうか。	タイトルを「まちづくりの方向」に修正します。 「視点」の言葉は、紛らわしいため削除しました。
構10	まちづくりの方向		基本構想「5 まちづくりの課題」が、「4 理想のまち」と「6 まちづくりの方向と視点」の間であって、どうも流れが悪いように読み取れます。「4 理想のまち」を目指して、現実の「5 まちづくりの課題」を改善・解決するために、「6 まちづくりの方向と視点」が提示されるという論理展開と思いますが、どうも「5 まちづくりの課題」が「6 まちづくりの方向と視点」に反映されていないように思える。提案として、11ページの図の、6つの方向性に下部の「みんなでつくるまちづくり」に、「課題」を入れ込むのはいかがでしょうか、ご検討下さい。加えて、「6 まちづくりの方向と視点」の最初の2行の中に、前項の課題について言及するとわかりやすいと思います。	冒頭に前章で述べてきたことを踏まえる言葉を追加し、次のように修正しました。 「わたしたちの望み〔基本理念〕」及び「理想のまち〔将来像〕」を踏まえ、「まちづくりの課題」に挙げた課題を解決するため、・・・・。また、まちづくりの6つの方向がわかりやすくなるよう、図の見直しをしました。
構11	まちづくりの方向		まちづくりの6つの方向 「みんなでつくるまちづくり」がどうして大地のイメージか？ 他の5つの施策を包括するものなのか？ だとしたら、施策の同位6つの先頭になっているのはおかしくないか？ 並列のものではないか？ ここで突然先頭にもってきた意味は？	第2次基本構想では特に「みんなでつくる（協働）」がポイントと考え、すべての分野に共通する考え方であるとの認識から先頭にしました。 6つの施策が並列になるように図を見直しました。
構12	まちづくりの方向	みんなでつくるまちづくり	文中に「み3」の健全な自治体運営のニュアンスを入れるべきではないでしょうか。み3-2にその項目がありますから。	文末に「自治体経営」に関する文言を追加しました。

項番	方向	施策	審議会委員意見	修正内容
構13	まちづくりの方向		◇みどりの保全と創出を進めるために 文章の中に農地及び屋敷林等の保全という文章も入れてもらえないかと思います。	農地の保全については「活」で触れていて、屋敷林については「みどり」に包括した構成としています。現行のままとします。
構14	まちづくりの方向		◇持続可能な社会を確立するために 下から9行目 文中追加 風塵、光公害、悪臭	基本構想の部分では、細かな公害例を列挙することは想定していません。「風塵・悪臭」は後半部分で反映しています。
構15	まちづくりの方向	持続可能な社会を確立するために	最近では持続可能な社会とは環境保全、経済の活性化、社会問題の解決をも含む傾向があり、文言は環境保全の確立のために等とすべきと思います。また、「市民が満足し持続発展するまちであるために」と表現が似ている感じがあります。	「環境」のイメージを追加し、「持続可能な環境に配慮した社会を確立するために」に修正しました。
構16	まちづくりの方向	安全で快適に暮らすまちづくり	1行目から5行目 安全で安心生活は大震災、中国の風塵、北朝鮮問題などで一段と市民の関心事となっています。市長も重点項目にされています。そんな意味から考えると、現在の文面ではそんなニュアンスが弱いのではないのでしょうか (修正案) わたしたちが安全に安心して暮らせる生活環境は、まちづくりに欠かせない重要な課題です。そのため、大切なのは毎日の生活の基盤になる生活インフラの整備と市民一人ひとりの防災や防犯意識の高揚です～	修正案を参考とさせていただき、見直しました。
構17	まちづくりの方向		◇地域性を活かして人が集う魅力的なまちになるために 下から4行目と3行目は下記のような文面を提案させていただきます。 (修正案) そこで、市にある魅力的な資源をいま一度見直し、豊かな自然を活かした地域の特産品をブランド化するとともに、歴史、文化、観光などの地域資産を俎上に載せ、市内外の人々の誘引をはかる施策を積極的に推進していきます。	修正案を参考とさせていただき、見直しました。
構18	将来像	みんなでつながり支えあうまち	[みんなでつながる～]の1行目の”安心・安全に～“は、隣のページの”安全・安心で～”の項目があるので、紛らわしいです。	「安全・安心」は削除しました。
構19	まちづくりの方向	笑顔で暮らすまちづくり	団体→市民活動団体	文言修正しました。
構20	まちづくりの方向		◇だれもが地域で安心して暮らし続けるために 上から19行目 文中追加 ～ための相談、アドバイスなどサポート体制を充実	文言修正しました。
構21	まちづくりの方向		◇まちの産業が活力を發揮し活躍するために 上から17行目 次世代農商工業者	文言修正しました。

【審議会意見】 〔基本計画（総論）〕 意見に対する修正内容

項番	方向	施策	審議会委員意見	修正内容
総 1	全体		目次構成ですが、基本計画は、第一部総論、第二部各論というように区分したほうがわかりやすいと思います。提示され内容は、総論にあたる部分ですから、これに第二部の各論が続くのがいいと思います。また、細かいことですが、それぞれには扉が挿入されると理解しています。	ご意見を踏まえ、見直しを検討いたします。 最終的には1冊の冊子となりますが、現段階（中間のまとめ）では「基本構想・基本計画総論」と「基本計画各論」を分ける形で取り扱います。
総 2	全体		基本計画総論には、計画体系図を入れるといいと思います。 「6 計画の読み方」の中もしくは前がいいと思います。	「6. 計画の読み方」の前に計画体系図の項を設ける形で、見直しました。
総 3			基本計画総論 p34 には、新たに「市民との協働」の事例が入っています。良いアイデアですね。是非良い事例をあげてください。	今回、反映いたしましたので、ご確認をお願いします。

【審議会意見】 〔基本計画（個別）〕意見に対する修正内容

項番	方向	施策	審議会委員意見	修正内容
各1	み2-1		<u>男性</u> のDVも増えて社会問題になってきている	「外国人など」の「など」の中に男性へのDVも含めると考えておりますので、現行のままとします。
各2	み2-3		女性・ <u>男性</u> を～ 市民、 <u>市民活動団体</u> 、NPO 女性・ <u>男性</u> 相談～	文言修正しました。 なお、市では「男性」ための権利擁護相談は実施しておらず、都の窓口を紹介しているため、み2-3は、現行のままとします。
各3	創1-1		ころは → <u>頃</u> 無職の若者 → <u>職に就かない、職に付けない若者</u> ～制度のはざまであり～ 意味がよくわからない。	「ころ」はひらがなで統一していますので、現行通りとします。 「無職の若者」は「若年無業者」に修正します。 「～制度のはざま～」は「若者世代への支援が課題となっています」に修正します。
各4	笑1-1-1		「取り組み」と「取組」につて、どちらかに統一したほうがいいのではないのでしょうか。	動詞として使う場合は「取り組み（ます）」、 名詞として使う場合は「取組」と統一していますので、現行通りとします。
各5	笑1-1-3		団体 → 市民活動団体 こたえる～ → <u>応える</u> もち → <u>持ち</u>	この「団体」は社協や医師会等の意味としており、市民活動団体に限られたものではないため、現行のままとします。
各6	環1-1		現状と課題の下から3行が大切なメッセージだと思うのですが、市民への思いと農家への思いがもう少しわかりやすくしたいですね。	現状と課題の最後の3行につきましては、内容を見直しました。 ※農業経営については、「活」に記述しています。
各7	環2-1		キーワードに追加したいですね。 ◆ <u>環境と開発のウエルバランス</u>	環境とバランスのとれた開発については、人にやさしいまちづくり条例の範囲とし、現行のままとします。
各8	環2-1-1		<u>お互いに</u>	文言修正しました。

項番	方向	施策	審議会委員意見	修正内容
各9	活1-1		施策タイトル「 <u>地域産業の振興</u> 」	産業の振興は「地域」が主体ですので、内容は含まれていると考えており、「施策のタイトル」については、現行のままとします。
各10	活2-1		・まちの魅力の創造 → <u>地域ブランドの創造</u> 活ブロックは活力のあるまちづくりを中心にすべきであって、環境が表に出すぎているように思いました。 現状と課題の下から3行、いきなり東大農場が出てきて唐突な感じがします。	ここでの内容は市の魅力の創造としており「地域ブランド」を想定した取組を進めるとしていますが、全体としては、まちの魅力を発信するイメージが強いので、現行のままとします。
各11	活2-1-2		活2-1-2が2-1-1より先にすべきではないでしょうか。そして、やはり東大農場が9行目から11行目までにいきなり出てくるのに違和感を感じます。	課題解決に向けた視点である、活2-1-1と活2-1-2を入れ替えます。
各12	み1-1		キーワード部分 ・ <u>地域</u> ～・ <u>ボランティア</u> ・ <u>市民</u> ～ としたほうがいいのでは	文言修正しました。
各13	み1-2		キーワード部分 ・ <u>ボランティア</u> 、 <u>市民活動団体</u> 、 <u>NPO</u> 、 <u>企業</u> 、 <u>大学</u>	文言修正しました。
各14	み2-1-1		すべての <u>人々</u> の <u>人権と自由</u> が～	文言修正しました。
各15	み2-3-1		市民活動団体	文言修正しました。
各16	み3-2-3		多摩六都の <u>言葉</u> がほしい	文言修正しました。
各17	創1-1-2		しながら成長～ → <u>成長していく環境を整えていきます。</u> 他世代との交流～ → <u>世代を越えた交流の～</u>	文言修正しました。
各18	創1-1-3		義務教育が終了してから子育て世代になるまでの間の文章が言葉不足な感じがします。	文言修正しました。
各19	創1-2-2		孤立化～ → <u>孤立化などを防ぐには</u> ことあり → <u>こと</u> であり	文言修正しました
各20	創1-3		下から6行目 ～ <u>調和を取ることが新たな問題としてクローズアップされてきています。</u>	文言修正しました

項番	方向	施策	審議会委員意見	修正内容
各21	創1-3-3		地域の安全・安心拠点として 登校時や下校時の 家庭や地域の人々に学校に対する理解を深めていただくため、	文言修正しました
各22	創2-1		～公民館での教育・文化事業や～ ～声もあり、その対応が大きな課題になってきています。	文言修正しました。
各23	創2-2-1		～ための情報受発信および情報交換の場として	文言修正しました。
各24	創2-3		～地域となったことによって、スポーツに対する関心が一段と高まりました。	文言修正しました。
各25	創2-3-1		～応じて、スポーツやレクリエーション活動できるよう、より親しみやすいコンテンツ～	文言修正しました。
各26	笑1-1		市民を取り巻く生活環境や状況が	文言修正しました。
各27	笑1-3		現状と課題の5行目から12行目。文章が長くて理解しづらいです。	文言修正しました。
各28	活1-1-3		工業に対する（ものづくり産業）取組がもう少し必要なのではないのでしょうか。	文言修正しました。
各29	活1-2		現状と課題の下から4行が理解しづらいですね（字送りのためか）。	文言修正しました。
各30	活1-2-1		～情報産業、コンテンツ制作などのソフト産業、教育・文化産業などの起業誘致・育成支援について～	文言修正しました。
各31	活1-2-2		上から3行目 <u>そのため、市内の大学と事業者と行政の連携をさらに強化・拡充して、地域資源～</u>	文言修正しました。
各32	活2-1-1		現在の内容だと、環境ブロックに入れるような内容になっているのが気になります。終わりから5行目に、地域活性化のニュアンスが書かれていますが、最後の2行が気になります。次のようになるべきだと思います。 <u>～ルートの設定を進め、地域ブランドの活性化を進めます。</u>	文言修正しました。